



山梨県障害者差別解消支援ネットワーク会議

【トピック】

- 昨年、12月9日に行われました、「第31回障害者の主張大会」及び「やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語の作品展」について紹介します。
- 2月15日、「令和2年度第3回障害者差別地域相談員研修会」をZoomによるオンラインでの開催を計画しています。

事務局：山梨県障害福祉課
〒400-8501
山梨県甲府市丸の内1-6-1
Tel 055-223-1460
Fax 055-223-1464
E-mail shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

「第31回障害者の主張大会」、 「やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語の作品展」の実施

昨年、12月9日に、「第31回障害者の主張大会」と「やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語の作品展」が、やまなしプラザ・オープンスクエアを会場として行われました。

(※ 大会の様子は、山梨県公式youtubeにて、配信しています。)

「第31回障害者の主張大会」

この大会は、毎年、障害者週間（12.3～12.9）に合わせて、県民の皆様が障害のある方の日頃の思いや障害について理解を深め、障害のある人もない人も共に暮らす「共生社会」を実現するために開催されています。



*発表の様子(→)

最優秀賞

「障害と向き合い、生きていく」

梶原 悠太

幻聴と被害妄想の症状に苦しみ、「統合失調症」の診断を受けた発表者が、両親や事業所の人たちの支援に支えられ、障害を受け入れ、障害と向き合ってこれからの人生を力強く生きようとする思いを語る。

優秀賞

「見える、見えない」

田川 椰々

小1の時、心疾患となった発表者は見た目にはわからないという障害特性と葛藤してきた。体育の授業では、周囲の理解が得られず疎外感を感じた。見た目で判断しない。県の福祉関係の仕事に携わる今、その思いを熱く語る。

特別賞

「涙を流した分だけ」

吉田 沙緒里

乳児院、里親、そして養護施設と、親元を離れて生活した発表者は、「障害があるから」、「自分がいい子じゃないから」と、常に自分を責めて生きてきた。涙を流した分だけ人は強くなれる。その思いを語る。

講評する小畑文也・山梨大学大学院教授(→)



努力賞

「障害者差別解消法・『自助』『共助』『公助』とは何か」

木内 孝明

社会の1番の基本は「共助」。「共助」のセーフティネットとなる機能が「公助」。共生社会の中で、「障害者差別解消法」が多くの人に理解され、互いに安心して豊かな暮らしができることを発表者は強く望む。

努力賞

「わたしの人生色々」

関根 ふじ彥

3歳の頃、聴覚障害をもった発表者は父母の温かい支援の中、ろう学校に学び、今も盲ろう者介助通訳の活動などに取り組んでいる。家族との協力、そして家族への感謝。人生を振り返り、今、その思いを語る。

やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語の作品展



県では、毎年、障害のある人とない人が相互に人格と個性を尊重し合い共に暮らすことができる「共生社会」をテーマに、ポスターと標語を広く県民から募集し優秀作品を表彰する取組を展開しております。

作品展では、応募していただいたポスター41点（小中学生の部27点、一般の部14点）、標語457点（小中学生の部268点、一般の部189点）を展示しました。受賞作品を紹介します。

「心のバリアフリーを広げる標語」受賞作品

【小中学生の部】

- | | | |
|-----------|------------------|-----------------|
| 優秀賞「やさしい手 | 君がさしだすその勇氣」 | 丸茂 ひなた（甲陵中学校3年） |
| 佳作「きみとぼく | みんなおんなじ だいじななかま」 | 村松 紘武（甲陵中学校1年） |
| 佳作「あなたと私 | つなぐ架け橋 差し出す手」 | 中村 萌菜（甲陵中学校3年） |

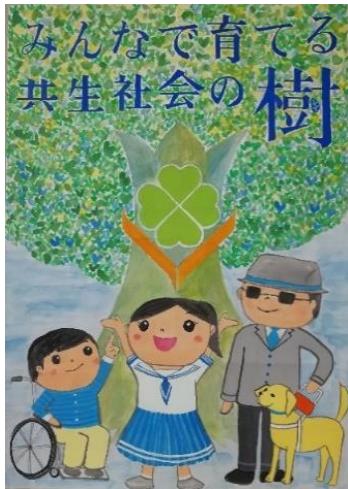
【一般の部】

- | | | |
|----------------------|----------------|----------------|
| 優秀賞「思いやり | 満ちて 溢れて つながって」 | 遠藤 隆之介（甲府東高2年） |
| 佳作「見つけよう自分と相手の良いところ」 | | 饗庭 凜（巨摩高 2年） |
| 佳作「思いやり | 気づかい一つで 笑顔の輪」 | 櫻林 さくら（甲府東高2年） |

「心のバリアフリーを広げるポスター」受賞作品

【小中学生の部】

- 優秀賞：
渡辺 彩乃
（河口湖南中
1年）



- 佳作：
奈良 心希
（一宮南小
6年）



- 佳作：
紺野 謹羽
（河口湖南中
1年）



【一般の部】

- 優秀賞：
持田 梨名
（山梨高3年）



- 佳作：
三浦 正博



- 佳作：
矢崎 彩
（白根高
1年）



令和2年度障害者差別地域相談員研修会の開催について

障害者差別解消法と山梨県障害者幸住条例（改正）は、平成28年4月1日に施行されました。施行後、5年が経過しようとしています。改めて、障害者差別解消に関わる周知・啓発の取組が大切だと考えます。2月15日（月）、令和2年度第3回障害者差別地域相談員研修会をZoomによるオンライン開催の形で計画しています。研修会では、今年度の障害を理由とする差別の相談状況をふまえて、山梨県障害者差別解消支援ネットワーク会議の会長である小畑文也・山梨大学大学院教授より、コロナ禍における合理的配慮の提供について講演をしていただく予定です。

また、今後の県及び市町村における障害者差別解消に向けた取組、相談体制の充実を図るため、今年度も「障害者差別に係る相談等の調査」を、市町村の担当課、障害者差別地域相談員にお願いする予定です。相談件数や障害者差別地域相談員の周知方法、地域における連携の状況などについてご回答いただきます。